

令和5年度 事業経営評価

団体名	(公財) 大阪市救急医療事業団	所管所属名	健康局
-----	-----------------	-------	-----

中期目標	(1) 当該外郭団体の事業経営を通じて達成しようとする本市の行政目的又は施策の具体的な内容
	大阪府医療計画に基づき市町村の役割としてある初期救急医療体制を確保するため、市内において休日・夜間の急病診療事業を実施すること。
	(2) 中期目標期間
	令和2年9月11日から令和6年3月31日までの4年間
	(3) 中期目標の期間終了時において、(1)の行政目的又は施策によって実現しようとしている状態
	市内における休日・夜間の急病診療事業を実施するため医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携がなされ、休日・夜間の急病診療事業が中期目標の期間を通じて安定的かつ継続的に実施できている状態

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

外郭団体の自己評価	最終目標達成状況	中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価を踏まえた団体の総合的な評価
	ア	<ul style="list-style-type: none"> ・期間中は、一定以上の勤続年数の看護師が安定的に雇用され診療の補助を担うことができ、医師の負担軽減に繋がった。 ・また、評価期間の大半において新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けたものの、一定水準の後送病院数を確保することにより、入院及び手術が必要な患者に対する救急診療の実施体制を確保した。 ・以上の結果により、期間を通じて、休日・夜間の急病診療事業が安定的かつ継続的に実施できたものとする。
	ア：達成 イ：達成見込み (計画期間中) ウ：未達成	
中期計画に定めた指標及び目標に基づく評価並びに当該評価を踏まえた本市の総合的な評価		
中期目標の期間を通じた評価	市の評価	<p>中期目標の期間において、様々な取組を設定したことにより、期間を通じて休日・夜間の急病診療事業が安定的かつ継続的に実施できたものとする。</p> <p>今年度で中期目標の全期間が終了するが、これまでの取組は新型コロナウイルス感染症を含む感染予防対策にも有効であったと評価しており、今後も初期救急医療体制を確保・維持するため、医師等の医療従事者の確保や後送病院との連携の取組を着実に進め、引き続き休日・夜間の急病診療事業が安定的かつ継続的に実施できるよう取り組まれない。</p>
		助言等及び講ずるよう求める措置の内容【大阪世外郭団体等への関与及び監理事項等に関する条例第7条第5項】（※必要な場合のみ）

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一 1

(※分野ごとの評価)

団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容

中期計画

- 【医療従事者の確保】
 (ア) 看護師に対する採用時研修の実施
 (イ) 看護師に対するスキルアップ研修の実施
 (ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施
 (エ) 勤続3年以上の看護師の割合

指標Ⅰ 採用時研修における受講者満足度

	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	80%	—	80%	—	80%	—	80%	—				
実績値	100%	—	100%	—	100%	—	100%	—				

中期計画期間における具体的な取組内容(実績)

- (ア) 看護師に対する採用時研修の実施
 ・期間中の全ての新規採用者(37人)に対して、新採用看護師チェックリストを活用して、経験やスキルに応じた研修を個別に実施した。
 ・指導看護師の意見を取り入れたり、コロナ禍により、感染症対策の比重を大きくするなど、研修マニュアルや指導内容の充実を図った。
 ・期間中に実施した受講者アンケートでは、全受講者から満足であるとの回答を得た。

指標Ⅱ スキルアップ研修の受講者満足度

	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	80%	—	80%	—	80%	—	80%	—				
実績値	100%	—	100%	—	100%	—	100%	—				

中期計画期間における具体的な取組内容(実績)

- (イ) 看護師に対するスキルアップの研修の実施
 ・期間中は、計6回のスキルアップ研修を実施した(研修対象者数 R2:94人、R3:88人、R4:89人、R5:89人)。
 ・研修方法としては、コロナ禍においては、対面式ではなくweb方式を採用したことで、全看護師が研修に参加できた。
 ・期間中に実施した受講者アンケートでは、全受講者から満足であるとの回答を得た。

指標Ⅲ 感染予防研修の実実施回数

	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	1回	—	1回	—	1回	—	1回	—				
実績値	1回	—	1回	—	1回	—	1回	—				

中期計画期間における具体的な取組内容(実績)

- (ウ) 看護師に対する感染予防研修の実施
 ・期間中は、毎年1回感染予防研修を実施した。
 ・研修方法としては、コロナ禍においては、対面式ではなくweb方式を採用したことで、全看護師が研修に参加できた。
 ・研修内容としては、新型コロナウイルス感染症等の新興感染症を含む感染症や、職業感染症など、多種多様な感染症予防研修を実施した。

指標Ⅳ 勤続3年以上の看護師の割合

	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率				
目標値	60%	—	60%	—	60%	—	60%	—				
実績値	64%	—	66%	—	75%	—	75%	—				

中期計画期間における具体的な取組内容(実績)

- (エ) 勤続3年以上の看護師の割合
 ・コロナ禍では、PPE(個人用防護)の確保や発熱患者の隔離を徹底するなど、感染予防策を徹底することにより、看護師の感染への不安を取り除き、良好な職場環境維持に努めた。
 ・期間中は、目標値(60%)を上回ることができた。

中期計画達成状況

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	A	A：指標全部達成 B：指標全部未達成 C：指標一部未達成	中期計画の目標達成状況 【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成
	中期計画期間の達成状況について					
<p>・研修時に行うアンケートによるニーズも考慮した研修メニューや研修方法を実施したこともあり、期間中は、(ア)～(エ)の取組において、全ての指標で目標を達成できた。</p>						

市の審査	中期計画の目標達成状況 【中期計画期間】	ア	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成	「様式1：中期目標(3)」 に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	<p>採用時研修、スキルアップ研修、感染予防研修にかかる受講者アンケート結果を確認したところ、全受講者が満足であると回答しており、研修に係る取組は順調に進捗した。また、勤続3年以上の看護師の割合も中期計画の期間を通じて目標を上回っていることから、外郭団体の自己評価は妥当である。</p>					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
<p>目標として掲げた各種研修を確実に実施するとともに、感染予防対策を含む職場環境の改善を行っている。評価期間の大半がコロナ禍であった中においても、全ての目標を確実に達成しており、これらの団体の取組の結果、勤続3年以上の看護師の割合は、中期目標策定時点の60%水準を大きく上回っている。よって、団体の取組は、休日・夜間の急病診療事業の安定的運営に大きく寄与し、中期目標達成に有効であったと認められる。</p>						

●最終年度【中期目標の期間を通じた評価】

対象事業活動の実績に関する評価(事業活動に関する事項)

取組一 2 (※分野ごとの評価)

中期計画	団体が中期計画期間中に行政目標達成に向けて取り組む具体的な内容									
	【後送病院の安定的な確保】 (ア) 後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 (イ) 患者診療実態調査票に記載された意見等への対応 (ウ) 新たに後送病院を希望する医療機関への取組									

中期計画達成状況	指標Ⅰ	患者診療実態調査票の回収率									
		R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率		
	目標値	100%	—	100%	—	100%	—	100%	—		
	実績値	79%	—	98%	—	94%	—	95%	—		
	中期計画期間における具体的な取組内容(実績)										
	(ア) 後送病院に送付した患者診療実態調査票の回収 ・期間中は、毎年1月1日～11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して、患者診療実態調査票を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・上記のうち、毎年12月31日までに全ての調査票の回収まではできていなかったが、電話にて返送を促すことにより、最終的には年度内に全て回収できた。(令和5年度は見込み)										
	指標Ⅱ	意見等に対する対応率									
		R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率		
	目標値	100%	—	100%	—	100%	—	100%	—		
	実績値	100%	—	100%	—	100%	—	100%	—		
中期計画期間における具体的な取組内容(実績)											
(イ) 患者診療実態調査票に記載された意見等への対応 ・期間中は、毎年1月1日～11月30日までに患者を受け入れた後送病院に対して、患者診療実態調査票を送付し、意見や要望等があれば調査票への記載をお願いした。 ・頂いた意見等の中で、対応が必要な意見については、速やかに対応した。なお、頂いた意見等については、事業団内部や出務医師に情報共有した。											
指標Ⅲ	新規後送病院数										
	R2	中期計画 進捗率	R3	中期計画 進捗率	R4	中期計画 進捗率	R5【最終】	中期計画 進捗率			
目標値	—	—	1病院	—	1病院	—	1病院	—			
実績値	—	—	1病院	—	0病院	—	0病院	—			
中期計画期間における具体的な取組内容(実績)											
(ウ) 新たに後送病院を希望する医療機関への取組 ・期間中は、コロナ禍でもあり、新規の後送病院参入は困難な状況ではあったが、出務医師や看護師等からの聞き取りを中心に新たに後送病院を希望する可能性のある医療機関の情報収集に努めた。											

外郭団体の自己評価	指標の達成状況	C	A: 指標全部達成 B: 指標全部未達成 C: 指標一部未達成	中期計画の目標達成状況 【中期計画期間】	ウ	ア: 達成 イ: 達成見込み(計画期間中) ウ: 未達成
	中期計画期間の達成状況について ・指標Ⅰについては、期間中は目標を達成することができなかったが、各年度末の時点では目標を達成することができた。(令和5年度は見込み) ・指標Ⅱについては、目標を達成することができた。 ・指標Ⅲについては、令和3年度は目標を達成できたが、コロナ禍の影響もあって他の年度では目標を達成できなかった。しかし、指標Ⅰや指標Ⅱの取組みも功を奏し、期間中安定して各診療所の後送体制を確保することができた。					

市の審査	中期計画の目標達成状況 【中期計画期間】	ウ	ア：達成 イ：達成見込み(計画期間中) ウ：未達成	「様式1：中期目標(3)」 に対する取組の有効性	A	A：有効だった B：有効ではなかった
	「外郭団体の自己評価」に対する審査結果					
	<p>これまでの各年において、年度計画による取組を進めており、中期計画に沿った取組は概ね順調であるが、一部の指標について目標を達成できなかった。</p>					
	「中期目標」達成の視点からみた審査結果					
<p>後送病院の安定的な確保は、初期救急医療体制を確保するために非常に重要な取組であり、既存の後送病院との連携を密にしながら、新規の後送病院の確保に向けた取組を進めたことは評価できる。中期計画の目標は未達成であるが、後送病院数については期間を通じて期間当初と同水準の病院数を確保しており、中期目標に対する取組の有効性は認められる。</p>						